

保護者評価の公表 <当事業所の児童発達支援についての評価>

事業所名： あそびや

公表：令和 3年 5月 24日

*下記の表の「はい」から「わからない」までの各欄は全回答者に対する割合(%)を整数で表示

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者のご意見集約	事業所の対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	100%				・少人数で広々とした空間を使えて良い。	
	2	職員の配置数や専門性は適切である	90%			10%	・手厚いと思う ・どのような資格や経験がある先生なのか保護者に分かるように「見える化」して欲しい。先生がよく変わるのでとても気になります。	今後も万全な人員配置で療育にあたります。また、「見える化」についても検討し、非常勤のOT、STの配置や外部講師をお招きし療育法のスキルアップにも努めてまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%				・入り口から部屋を見渡すだけでどこに何があるか子供でもすぐ分かるようになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%				・座って遊ぶおもちゃからアクロバティックな遊具まで幅広く揃っている。	
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	90%	10%			・話し合いの下、毎回の確かな支援計画が作成されている。	療育支援にあたるスタッフによる個別支援計画の検討会議を行っています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%				・細かい事柄にも気づいてくれて適切かつ具体的な内容が設定されている。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	70%	20%		10%	・場面に応じて適切な項目の支援が行われている。	PDCAサイクルに基づいた支援をより充実してまいります。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	70%	10%		20%	・自由遊び、運動、座って遊ぶなどメリハリがありとても良い。 ・今年の4月からプログラムの内容が大幅に変更となったため、子供が「どうして？」と思っているようです。	活動の中に運動あそびや机上課題など工夫を凝らした取り組みとともに「あそびや」の理念や大切にしているものも継続しながら療育を行っています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	30%		20%	50%	・年齢の違う子供たちと遊ぶことで本人も色々な刺激を受けて、良い経験ができています。 ・年に数回、別の事業所から聞きとりや情報共有をして頂いています。障害のない子供との活動機会はないです。	コロナ禍で交流等を自粛させていただいております。今後の課題といたします。

* 下記の表の「はい」から「わからない」までの各欄は全回答者に対する割合(%)を整数で表示

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者のご意見集約	事業所の対応
適切な支援の提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	100%				・都度、丁寧に分かりやすい説明がある。	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	90%	10%			・的確な説明があった。	児発管作成の個別支援計画は検討会議を経て作成しております。より丁寧な説明に努めてまいります。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われている	40%	20%	20%	20%	・非常に的確な言いまわし、行動等を教えてもらっている。とても信頼感、説得力のある答えをいつももらっている。 ・「ペアレントトレーニング」はないが相談することは可能。	個別には保護者へのアドバイスなどを行っていますが、今後、プログラム化も含めた取り組みにも注力してまいります。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	90%			10%	・子供のことで不安なことがあればすぐメモして気持ちを共有してくれる。私の気持ちの支えになってくれている。 ・4月から母子分離になったので先生と時間をかけて話す機会が減りました。もう少し話せる時間が欲しいです。	より丁寧に分かりやすい対応に努めてまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	70%	10%	10%	10%	・毎回行われている。助言にいつも救われている。 ・定期的にはしていませんが、計画を立てる時には児発管と話しませんが、通常利用時に子供と良く接している先生と定期的な面談機会があればよいと思います。	毎日の振り返りや定例会でお子さまの情報共有をはかっております。また、療育担当との面談ももちろん可能です。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	10%		60%	30%	・保護者同士の連携はないと思う。 ・保護者同士の連携の支援はないので今後考えて頂きたい。	コロナ感染の状況をふまえながら実施を検討してまいります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	90%			10%	・トラブルがあった時(子供同士で)すぐ対応してくれる。翌週も前回のケアをちゃんとしてくれて安心させてくれる。	毎日の振り返りにおいて情報共有をより確実にしてまいります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	80%	10%		10%	・相談した事、その日の事等メモしていつも把握してくれている。	毎日の振り返りにおいて情報共有をより確実にしてまいります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	20%		20%	60%	・確認したことはない。	新年度より「あそびや通信」を定期的に発行しております。HPを活用した広報も合わせて充実させてまいります。

*下記の表の「はい」から「わからない」までの各欄は全回答者に対する割合(%)を整数で表示

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者のご意見集約	事業所の対応
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	90%			10%	・そうだと思う。	より一層、個人情報の取り扱いには注意してまいります。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	80%			20%	・発生を想定した訓練はしていないが、マニュアルの徹底はされている。	マニュアルの内容を保護者の皆様にも周知してまいりたいと思います。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	60%			40%	・訓練はしていないが分かりやすい説明や保管場所の説明はあった。	訓練の内容を広く周知してまいります。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	100%				・毎週帰るのを嫌がる程、通所を楽しんでいる。	ありがとうございます。
	23	事業所の支援に満足している	80%	10%		10%	・とても手厚く、親切である。 ・まだ入所したばかりでわからない。	療育面で創意工夫しながら支援内容の向上に努めてまいります。

【管理者より】

この度は自己評価に関するご協力、誠にありがとうございました。コロナ禍で地域との交流等を含め制限の多い年でもありました。感染状況等に考慮しながら諸活動や療育支援をより積極的に行ってまいります。また、保護者の皆様と一層の信頼関係構築に向けて情報共有と連携をはかってまいります。引き続きよろしくお願いいたします。